

学長／教授 吉瀬 献策（きちせ けんさく）

最 終 学 歴	早稲田大学国語国文学専攻科 修了
学 位・資 格 等	高等学校教諭二級普通免許状（国語）、高等学校専修免許状（国語）、中学校教諭一級普通免許状（国語）
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし 【学術論文】 特になし 【その他】 令和3年度北海道高等学校長協会後期 研究協議会実践発表		2022年1月		

副学長／教授 中島 元子（なかしま もとこ）

最 終 学 歴	岩手大学工学部応用化学科 卒業
学 位・資 格 等	高等学校教諭1種免許状（理科）
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし 【学術論文】 1. 「科学のしくみを教える工夫」を手 がかりとした領域「環境」の指導法へ の示唆－保育者をめざす学生と園児の 科学実験－ 【その他】 特になし	共	2025年3月	修紅短期大学紀要 第45号 1-20	中島元子 館山壮一

教授 千葉 正（ちば ただし）

最 終 学 歴	城西大学経済学部経済学科 卒業 日本体育大学大学院体育科学研究科博士課程 研究生修了
学 位・資 格 等	経済学士、日本スポーツ協会公認バレーボール(コーチ4)
所 属 学 会	日本体育学会、日本発育発達学会、日本体力医学学会、バレーボール学会、トレーニング科学学会、日本スポーツ健康科学学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共 著 の 別	発 行 又 は 発表の年月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 子ども家庭ソーシャルワーカーの課題と国家資格化へ向けたソーシャルワーク理論の必要性	共	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号	館山壮一 千葉正
2. 学生が考案したダンス指導の分析による領域「健康」の指導法への示唆	共	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 47-56	千葉正 館山壮一
3. 休園による家庭環境の変化と子どものストレスについての研究 ーコロナ自粛による休園は園児のストレスに影響を与えたかー	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 31-36	千葉正 館山壮一
【その他】 特になし				

教授 菊池 武剋（きくち たけかつ）

最 終 学 歴	東北大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程 単位取得退学
学 位 ・ 資 格 等	文学修士
所 属 学 会	日本心理学会、日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本キャリア教育学会、日本犯罪心理学会、東北心理学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 1. 解説キャリア教育 2. 子どもとかかわる人のための心理学 ー保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助への扉ー 3. キャリア教育概説 【学術論文】 特になし 【その他】 特になし	単 共	2023年4月 2020年10月 2020年9月	(株)実業之日本社 (株)萌文書林 第5章 第8節 249-252 (株)東洋館出版社 第I章 第1節 8-11	沼山博 三浦主博 加藤道代 神谷哲司 菊池武剋 鈴木智子 高橋賢 津田千鶴 中村修 福島朋子 清水和秋 松井賢二 古川雅文 下村英雄 吉田辰雄、他

教授 小山 祐二（おやま ゆうじ）

最 終 学 歴	宇都宮大学教育学部小学校教員養成課程 国語専修 卒業
学 位 ・ 資 格 等	教育学士
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共 著 の 別	発 行 又 は 発 表 の 年 月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又 は 発 表 学 会 等 の 名 称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】 1. 連携を学校経営の柱にした教職員の 人材育成について	単	2021年9月	令和3年度全国特別支援学級・通級 指導教室設置学校長協会第58回全 国研究協議会岩手大会研究紀要 40-41	
【その他】 校内研究会講師 1. 文学的な文章の基本的な読み方	—	2021年11月	一関市立山目小学校研究会	小山祐二

准教授 中尾 彩子（なかお あやこ）

最 終 学 歴	文京学院大学大学院人間学研究科心理学専攻心理学コース 修了
学 位 ・ 資 格 等	修士(心理学)
所 属 学 会	日本心理学会、日本発達心理学会、日本応用心理学会、日本保育学会、日本保育者養成教育学会、東北心理学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 1. 応用心理学ハンドブック	共	2022年9月	福村出版(株) 第3章 Topic7 124-125	藤田主一 古屋健 角山剛 谷口泰富 深澤伸幸 小林剛史、他
【学術論文】 1. 追記とともに育む森林教育 ー自然を活かした学びのかたちー	単	2025年3月	修紅短期大学紀要 第45号 21-30	
2. シールを用いた週案とその振り返りを 保育実践につなげる検討	単	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 1-8	
3. ウェアラブルカメラ映像を用いた保育 実践の共有と相互理解の試み	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 27-36	
4. 早期の職業選択が想定するライフコ ースのイベント記述数とキャリア発 達に及ぼす影響	単	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 37-42	
【その他】 1. 子どもはどこを見ているのか。保育 者の思いと子どもの興味	—	2019年8月	第10回幼児教育実践学会 (常葉大学、静岡)	小野寺郁子 中尾彩子

准教授 館山 壮一（たてやま そういち）

最 終 学 歴	神戸大学大学院経済学研究科総合経済政策専攻博士後期課程 単位取得満期退学 岩手県立大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程 修了
学 位 ・ 資 格 等	博士(社会福祉学)、修士(経済学)
所 属 学 会	日本保育学会、東北経済学会、日本消費経済学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共 著 の 別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 「科学のしくみを教える工夫」を手がかりとした領域「環境」の指導法への示唆ー保育者をめざす学生と園児の科学実験ー	共	2025年3月	修紅短期大学紀要 第45号 1-20	中島元子 館山壮一
2. 児童養護施設の財務的特徴と課題	単	2025年3月	修紅短期大学紀要 第45号 31-40	
3. 保育園の経営戦略についての一考察：R・ルメルトの戦略論をもとに	単	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 23-33	
4. 子ども家庭ソーシャルワーカーの課題と国家資格化へ向けたソーシャルワーク理論の必要性（研究ノート）	共	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 9-21	館山壮一 千葉正
5. 小規模農村集落における農福連携事業の研究ー持続可能な事業戦略の構築ー（博士論文）	単	2023年3月	岩手県立大学	
6. 農村型地域運営組織のあり方に関する考察ー農村RMOと農福連携の活用を視野に入れてー	単	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 31-46	
7. 学生が考案したダンス指導の分析による領域「健康」の指導法への示唆	共	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 47-56	千葉正 館山壮一
8. 地域共生社会の実現に向けた新しい農福連携のあり方について	単	2022年9月	修紅短期大学紀要 第43号第1分冊 1-14	
9. 農福連携事業の法人化戦略についてー地域運営組織の社会福祉法人化の提案ー	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 13-26	
10. 福祉的就労において農福連携が果たす意義と役割	共	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 1-12	館山壮一 宮城好郎
11. 保育所を運営する社会福祉法人の持続可能性戦略に関する考察ー損益分岐点分析を通してー	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 37-44	
12. 農福連携研究の展望と行政支援の現状（査読付き）	単	2022年3月	東北経済学会誌第75巻1号	
13. 保育士を目指す学生の語想起能力と生育環境の関連ー保育の環境構成を事例としてー	単	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 15-20	

14. 言語的つながりから見る幼小連携 についての考察 ー小学校学習指導要領と幼児教育3 法令を対象にー	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 21-29	館山壮一 高橋正紀
15. 休園による家庭環境の変化と子ども のストレスについての研究 ーコロナ自粛による休園は園児のス トレスに影響を与えたかー	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 31-36	千葉正 館山壮一
【その他】 特になし				

助教 皆川 理奈（みながわ りな）

最 終 学 歴	東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程 修了
学 位 ・ 資 格 等	修士(美術)
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 幼児期における内発的な創造欲求を 醸成させる環境と援助活動の構築 ー五感を通した体験が発見意識と造形 表現に発展するためにー	単	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 35-54	
2. 表現の場としての展示を考える ー造形活動のその先ー	単	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 51-63	
3. 幼児期における内発的な創造欲求に ついての視点と考察	単	2022年9月	修紅短期大学紀要 第43号第1分冊 15-21	
【その他】				
1. 皆川理奈演出合同作品展 「今日も明日も」	単	2023年1月	一関文化センター 小ホール	

助教 清水 智子（しみず ともこ）

最 終 学 歴	洗足学園音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修士課程 修了
学 位 ・ 資 格 等	修士(音楽)
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発表者 等
【著書】 特になし 【学術論文】 特になし 【その他】 1. ジョイントコンサート2023まちのハーモニーinひらいずみ 2. オペライーハトーブ ドニゼッティ作曲 歌劇『ドン・パスクワレ』 3. 捻金正雄と仲間たちとのジョイントコンサート 4. オペライーハトーブ スプリングガラコンサート グノー作曲 歌劇『ロミオとジュリエット』 5. 一関修紅高等学校芸術鑑賞会 「本校卒業生及び賛助演出による声楽の調べ」 6. 2022 輝いて今！～歌・アリアのひととき～ 7. 八王子イタリアオペラ合唱団 特別チャリティーコンサート～医療従事者への感謝の気持ちをこめて～ 8. オペライーハトーブ ドニゼッティ作曲 歌劇『リタ』 9. 気軽にオペラ！ 抱腹絶倒のラブコメディオペラ ドニゼッティ作曲 歌劇『リタ』 10. オペライーハトーブ スプリングコンサート2022		2023年11月 2023年6月 2023年6月 2023年3月 2022年10月 2022年9月 2022年7月 2022年6月 2022年6月 2022年3月 2022年4月	平泉町学習交流施設エピカ 一関文化センター中ホール 豊洲シビックセンターホール 一関文化センター中ホール 一関文化センター大ホール 豊洲シビックセンターホール 八王子市芸術文化会館いちょうホール 小ホール 一関文化センター中ホール 豊洲シビックセンターホール 一関文化センター中ホール 松明堂音楽ホール	平泉男女共同参画サポートの会 フィオーレ・フォンテコンサート 実行委員会 イタリア語上演 ノリーナ役 Nプロデュース フィオーレ・フォンテコンサート 実行委員会 ハイライト フランス語上演 ジュリエット役 8. 一関修紅高等学校芸術鑑賞会 「本校卒業生及び賛助演出による声楽の調べ」 「楽しく歌おう！イタリアの歌」の会 フィオーレ・フォンテコンサート 実行委員会 イタリア語上演 リタ役 Nプロデュース イタリア語上演 リタ役 フィオーレ・フォンテコンサート 実行委員会 ヴェルディ『椿姫』より他

11. オペライーハトープ第1回ガラ・コンサート ドニゼッティ作曲 歌劇『愛の妙薬』		2021年6月	一関文化センター中ホール	フィオーレ・フォンテコンサート 実行委員会 ハイライト イタリア語上演 アディーナ役
12. 第1回みんなでオペラ！inこだい ら ビゼー作曲 歌劇『カルメン』		2021年2月	ルネこだい中ホール	モーツァルトの 音楽をたのしむ 会多摩支部 ハイライト フランス語上演 ミカエル役